

KBSは「HANDS ON型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

9月8日は二十四節季の「白露」です。夜は冷え込み草の葉に露が付くといわれ秋の始まりを意味します。まだ日中は暑いですが朝晩は少し過ごしやすくなりました。

KBS本社のある兵庫県の日本海側、香住では秋の味覚、紅ズワイガニが9月1日に解禁になり、早くも関西の食通が訪れ賑わっています。団体客からご夫婦の個人旅行まで様々な層が旅をするこの時期、旅のキーワードはやはりグルメです。ご当地ならではの素材を生かした食の提案で誘客を図りましょう。

株式会社KBS創研 代表取締役社長 小泉 寿宏



2020年東京オリンピック・パラリンピックをインバウンド誘致の「最大の契機」としよう！

2020年に訪日外国人客の誘客目標を2000万人に設定 観光立国推進閣僚会議が「アクションプログラム2014」を発表

本年6月17日、観光立国推進閣僚会議（主宰：内閣総理大臣）は、2020年に我が国で開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け、訪日外国人客の誘客目標数を2000万人にすることを柱とした「アクションプログラム2014」を発表しました。

ビジットジャパンキャンペーンが開始され早や10年が経過しますが、昨年訪日外国人客数はその目標であった1000万人を突破しました。次の目標は6年で倍にするという高みを目指すものです。

この「アクションプログラム2014」には政府一体、官民一体となって具体的にどのような策を講じこの目標を達成させるのか、また東京、大阪といった大都市圏に集中する訪日外国人をどのように地方都市まで訪れていただくよう働きかけるかが明記されています。

本号ではそのポイントをご紹介させていただき、それに対する私小泉の考え方、思いを述べさせていただきます。

（『 』内は、観光庁ホームページより引用）

■「アクションプログラム2014」の6つの柱

本プログラムは、『①「2020年オリンピック・パラリンピック」を見据えた観光振興 ②インバウンドの飛躍的拡大に向けた取組 ③ビザ要件の緩和など訪日旅行の容易化 ④世界に通用する魅力ある観光地域づくり ⑤外国人旅行者の受入環境整備 ⑥MICEの誘致・開催促進と外国人ビジネス客の取り込み』の6つの柱で構成されています。

私が注目すべきポイントをご紹介します。

■「2020年オリンピック・パラリンピック」を 地方へ波及させる取り組み

開催地となる東京を中心とした各種インフラ整備のみならずいかに地方へ訪れていただくか、その意思が感じられます。

私が着目したのは『東京オリンピック・パラリンピックを日本オリンピック・パラリンピックへ』というキーワードです。『広域周遊ルートの形成を促すため、複数の空港とその間を結ぶ鉄道等が広域で連携して外国人観光客を誘致する取組を促す方策を検討する』『例えば観光資源として魅力のある列車の乗車や文化遺産を巡る等各地のモデルコースを作成し、リーズナブルな価格の新しい旅行商品の造成を促進する』等の施策はその意思の表れでしょう。地方を訪れやすくする施策が加重されますので、外国人客にいかにかわがまちの魅力を伝えるか、今からしっかりと磨きをかけていきたいと思います。

■ユニバーサル・ツーリズム普及に向け 「ソフト面の充実」に言及

今までの政策はハード整備に力点を置いたものでした。しかしこのプログラムではソフト面の充実にも言及しています。『さらに、バリアフリーに関する教育などにより、日本人一人一人の心の持ち方を高めて、「心のバリアフリー」（ソフト面）を進めて行くことが重要である。』KBSでは神戸を中心にユニバーサル・ツーリズムの普及に尽力しているNPO法人ウィズアス様の活動を側面から支援しております。ソフト面の充実を訴えてきたウィズアス様の声がこうして政府の方針に盛り込まれたことは歓迎すべきことです。KBSもその実現に向け尽力してまいります。

■担い手は観光業界だけにあらず…

「ALL JAPAN」でおもてなしをしよう！

日本の魅力は観光だけではありません。食や文化、ファッションからサブカルチャーに至るまで幅広いです。プログラムではALL JAPANでその魅力を発信する新たな取り組みが記されています。『エンターテインメント、ファッション、デザイン、アニメ、食、流通、農業、文化、IT等、様々な業界にインバウンド推進の担い手を大きく広げて、新たな取組を創出すべく、先端技術や先進的アイデアを活用した異業種間連携や同業種間の連携を促すプラットフォームを構築する。』観光業界に携わる私たちはできるだけ多くの業界、プレイヤーの皆さんと日本の魅力をいかに発信していくか連携して考え、実践する必要があります。

■その他、様々な旅のカタチを支援する施策が目白押し

世界に通用する魅力ある観光地域づくりの項では、全国一律の政策ではなく地域資源に即した取り組みが明示されています。

例えば北海道では自転車を活用した「サイクルツーリズム」、海洋県沖縄では「ダイビング博覧会の開催」、農林漁村においては様々な体験ができる民宿に統一的なマークを付与し、マークを掲げる農林漁業体験民宿の拡大を図る、また地域に点在する史跡・伝統芸能など有形・無形の文化財をパッケージ化し、地域の文化・伝統をストーリーとして現す「日本遺産」として認定するとともに国内外に発信する等きめ細かな対策が講じられます。

■「アクションプログラム2014」に対する私の考えと思い

戦略地域へのプロモーションやインフラを中心とした整備が目立った今までの観光政策とは180度変わりもちろん様々な情報発信やハード整備は進めるものの、コンテンツづくりやおもてなしといったソフト面、観光業界のみならずALL JAPANで取り組むという新たな視点が明確になった計画であると受け止めました。私たち観光事業者は従来の延長線上で物事を考えるのではなく、あらゆる業界の様々なプレイヤーと連携して自分たちがどのような貢献ができるか考える必要がある時代になったと感じております。それだけ可能性が広がってきた我が国の観光に期待が高まります。

KBSもその一翼を担うべく2020年に向け邁進します！

シンポジウム2014 参加申込受付中！

【サービス業に研究開発は必要か？－観光業の場合－】



株式会社 KBS 創研
代表取締役
小泉寿宏



京都大学
経営管理大学院
特定准教授
前川佳一氏

～今年も京都大学経営管理大学院×KBS創研にて、下記シンポジウムを開催致します～

観光商品のコモディティ化が進み独自性が発揮できず厳しい経営に直面する観光事業者が増える一方、圧倒的な企画力、サービス力で多くの観光客の支持を集めている施設が存在しています。サービスや観光商品の魅力を高める方策はどのようなことか？付加価値の源泉となる研究開発を観光業も行うべきか？観光客から支持を得ている施設は商品の魅力を向上させるべくどのような取り組みを行っているのかを紐解きながら、その是非、あり方を各業界から魅力あふれるパネリストの方々を迎え議論していきます。会場でぜひ皆様もご一緒に参加してみませんか？

【昨年の観光シンポジウム2013の様子はこちら】

「経営コンサルタントは必要か？～観光業の場合～」<http://www.kbsbiz.com/taidan/archives/7>

【問い合わせ・お申込み】株式会社 KBS 創研 広報室 野中（のなか）宛

TEL：03-6453-9088 FAX：03-6453-9089 mail：nonaka@kbsbiz.com

WEBでのお申込み先：<http://www.kbsbiz.com/taidan/event>

【京都会場】

「サービス業に研究開発は必要か？－観光業の場合－」

- 開催日時 9月25日（木）18:00～20:00（開場17:30～）
- 開催場所 京都大学吉田キャンパス本部構内 法経本館1F
法経第7教室（京都市左京区吉田本町）（定員：約100名）
<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/about/access/campusmap/>
- シンポジウム次第（予定）
17:30～開場
18:00～第1部 パネリストご紹介、ポジショントーク
19:00～第2部 パネルディスカッション（～20:00終了予定）
- コーディネーター 京都大学経営管理大学院 特定准教授 前川佳一氏
- パネリスト
・ザ・ウィンザー・エンタープライズ株式会社 代表取締役社長 窪山哲雄氏
・株式会社NTTデータ経営研究所
ニューロイノベーションユニットニューロマネジメント室室長 山川義徳氏
・株式会社 KBS 創研 代表取締役 小泉寿宏

【東京会場】

「サービス業に研究開発は必要か？－観光業の場合－」

- 開催日時 9月29日（月）17:00～19:00（開場16:30～）
- 開催場所 京都大学東京オフィス会議室（定員約60名）
（東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階）
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/about/access.htm>
- シンポジウム次第（予定）
16:30～開場
17:00～第1部 パネリストご紹介、ポジショントーク
18:00～第2部 パネルディスカッション（～19:00終了予定）
- コーディネーター 京都大学経営管理大学院 特定准教授 前川佳一氏
- パネリスト
・株式会社ユー・エス・ジェイ 営業部長 村山 卓氏
・株式会社NTTデータ経営研究所
ニューロイノベーションユニットニューロマネジメント室室長 山川義徳氏
・株式会社 KBS 創研 代表取締役 小泉寿宏

※両会場共に、さらに追加ゲストの参加も予定しています。お楽しみに！

編集 後記

2020年に東京で開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け発表された「アクションプログラム2014」の内容についてKBS創研の小泉代表が分かりやすく解説。地方、心のバリアフリー、ALL JAPANの魅力発信といったキーワードがポイントになるようです。このあたりも観光シンポジウム（9/25 京都、9/29 東京）のテーマになるかもしれませんね。（増田）

株式会社 KBS 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL:06-6423-5561/ FAX:06-6423-5571
東日本営業部：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル3階 TEL:03-6453-9088/ FAX:03-6453-9089
＜関連会社＞ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL:06-6282-7226/ FAX:06-4707-3855
特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）
〒604-8151 京都市中京区蛸薬師通烏丸西入橋弁慶町222番地京都イノベーションオフィス内 TEL:070-6928-0602

- 代表取締役：小泉寿宏
- 事業内容：観光・サービス業の経営支援
- 設立：2004年4月
- 地域オフィス：関西・東京